

織り物の準備において、①糸を糸巻に巻く ②これを糸縄や手縄りで、紹(かせ・輪状)にし染色等する ③もう一度糸巻に戻すこの工程を「繰り返し」という。糸巻とおだまきの花が似てていることから、しづ柄(倭文・日本古来の織りの文様)を織るのに欠かせない工程である「繰り返し」の枕詞となる。糸巻に巻かれる糸は主に麻や苧麻(からむし)の皮で、上布の原料となる

いにしへの

しづのをだまき

いやしきも

よきも さかりは

ありしものなり



をだまき
(糸巻き)

伊勢物語

古今和歌集

読み人しらず

いにしへの しづのをだまき繰り返し 昔を今になすよしもがな
しづやしづ しづのをだまき繰り返し 昔を今になすよしもがな



静御前